

## 編集後記

20 世紀末の 1999 年 4 月、日本大学は瀬在幸安総長のもと、日本最初の通信制大学院を発足させた。当学会は、その最初の年に、上田（宗片）邦義教授と一期生の有志によって設立された。瀬在先生は、設立当初からずっと当学会の名誉会長として学会の活動を見守られ、何度も温かいお言葉をくださった。瀬在先生は本年 2 月に永眠された。今も感謝の念に堪えません。ありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

学会草創期の 20 世紀末から 21 世紀初頭、「グローバリゼーション」という言葉をよく耳にした。類語の「国際化」が一つのブームとなった。世界の国々人々との協調共生を求めていく国際化のみならず、国境を越えて自規格や自分たちの考え方で統一しようとする国際化の動きも見られた。政治も経済も文化も、大国のそれがすべてを呑み込んでいいのか否か、どう棲み分けるのか、論じられた。それから 20 年あまり経ち、自国主義保護主義的な考え方も耳にするようになった。現在はむしろ行き過ぎた自国主義の台頭が問題視され、議論されている。

もし、行き過ぎたグローバリゼーションの先に戦争があるなら、あるいは、行き過ぎた自国主義の先に戦争があるなら、我々は、少なくとも私は、それに抗いたい。皆さま、本誌の表紙見返し、巻頭にある当学会の「モットー」を読み返してください。

戦争になる前に、あるいは戦争を鎮めるために、「同じ人間の仲間として他の全ての人々とより良い関係をつくる」というヴィジョンを共有できることを心から願います。この問いに対する解法は幾つもあるだろうが、平和を願い、文化の調和と融合を希求することは、その一つの解ではなかろうか。

尚、また今年は、新作能では珍しく『能・リア王』（宗片会長作）を年一回公演で四演された名誉会員の観世流能楽師・足立禮子師の生誕 100 年になります。その後、「能楽を通じて人々に平和の大切さ、命の尊さを知ってほしい。このまま死ぬことはできない」と、『能：ひめゆりの乙女達』（宮西ナオ子作・足立禮子演出）を上演、翌 2013 年、88 歳で永眠されたのでした。

平和への想い、受け継いでいきましょう。（編集子）

---

### 『融合文化研究』第 30 号

<https://ishcc.stars.ne.jp/>

発行所 〒192-0906 東京都八王子市北野町 560-11-302 国際融合文化学会（ISHCC）事務局

発行人 宗片 邦義

発行日 2025（令和 7）年 8 月 26 日 電子版公開

Published by: International Society for Harmonization of Cultures & Civilizations (ISHCC)

Office: Room 302, 560-11, Kitano-machi, Hachioji-shi, Tokyo 192-0906, JAPAN

E-mail: kuniyoshi@munagumi.com (MUNAKATA Kuniyoshi),

zenta@ca2.so-net.ne.jp (KIKUCHI Zenta)

---